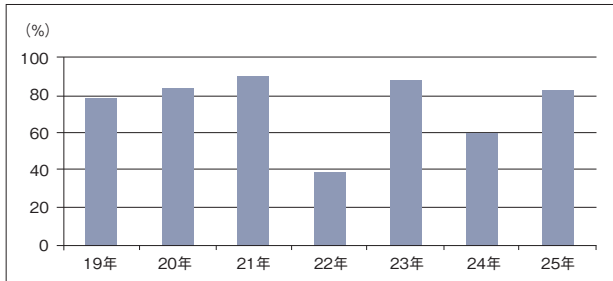


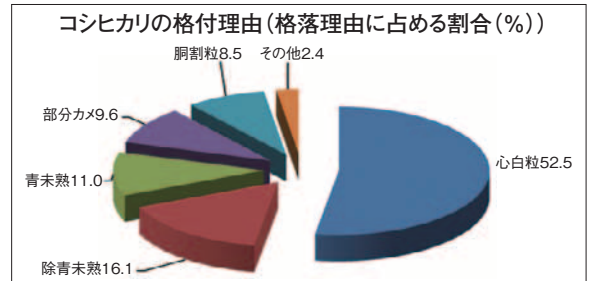
このままでいいのか北魚沼産コシヒカリ!!

平成25年度のコシヒカリは、梅雨期間の降雨・低温・日照不足や出穂後の高温、その後の強雨など厳しい気象条件の中、1等米比率は80%台へ回復しました。しかし、目標の95%には遠く及ばず課題の残る年となりました。

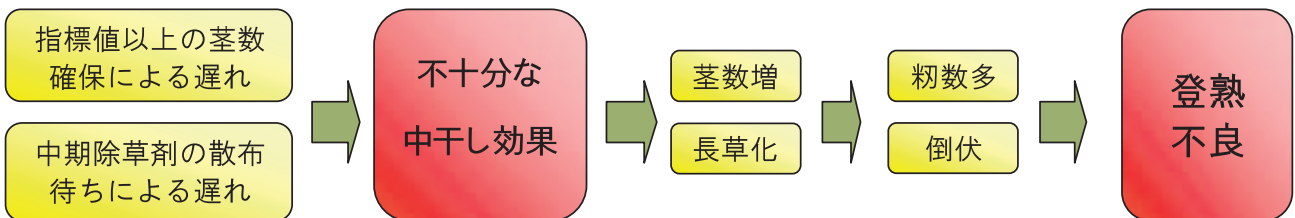
年度別1等米比率（コシヒカリ）



格落ち理由



格落ち要因の1つは不十分な中干しにあり!



! ポイント

様々な理由により中干しの開始が遅れ、本格的な降雨時期となり茎数の淘汰は進まず、その後の低温・少照・多雨により、草丈は長くなりました。

これに、登熟初中期の高温、8月下旬以降の日照不足も加わり、結果として登熟不良となり、心白・除青未熟・青未熟粒の発生を助長しました。

平成26年度の重点技術対策

初期生育が順調な年は、1ヶ月を待たずに中干し適期となるほ場もあるため、茎数をしっかり確認し、やや早めの中干し開始を検討しましょう。

○適期中干しの徹底

漏水防止・ほ場の平準化・雑草が生える前の散布など、初中期一発剤の効果をも高める対策や中期剤散布の判断を早めるなど、中期剤の散布が中干し開始に影響しないようにしましょう。

○適期収穫の推進

カントリーエレベーターの利用や早生品種・直播栽培の導入・拡大を図り収穫適期の拡大に取り組みましょう。

